

学校教育目標	○ともだち いっぱい かがやく こ (知)学ぶことの意義や楽しさを感じながら主体的に学び続ける子どもを育てます (徳)自他のよさを認め合い、成長する子どもを育てます (体)運動に親しむ習慣を身に付け、心身共にたくましく生きる子どもを育てます (公)地域とつながり、自分たちのまち横浜、都筑を大切にすることを育てます (開)様々な価値観を認め共に生きようとする子どもを育てます					
	学校概要	創立 23 周年	学校長 佐藤 康晴	副校長 志波 亮	2 学期制	一般学級: 21 個別支援学級: 3
児童生徒数: 680 人		主な関係校: 中川中学校				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中川中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
○主体的に考え学び続ける力 ○他者と協働し、解決していく力 ○持続可能なよりよい社会や新たな価値を創造する力	中川中学校 中川小学校 南山田小学校 牛久保小学校	○まちに住む一員として、地域とのつながりを大切にする子 ○自分を大切にするとともに、他者への心遣いができる子 ○自分の思いを表現しながら豊かな学び合いができる子 ・6年生による中学校訪問、中学生との交流を継続的に行います。 ・授業を伴いながら、中学校との指導内容、指導方法の連携を図ります。 ・教師間の交流、情報交換を積極的に行います。

<b>中期取組目標</b> ○子ども一人ひとりが主役の学校を創造し、健康で楽しく安心して過ごせる魅力ある学校づくりに努め、自ら考え進んで行動する子どもを育む。 ○一人ひとりが自己有用感を育み、他者と協働し、多様な価値観を認め、支え合い、共に学ぶ児童の育成を目指す。 ○家庭地域との連携を深め、地域の教育力の活用やさまざまな交流により、地域に開かれた特色ある学校づくりに努め、地域(横浜・都筑)や社会に関心を持ち、共に共生してゆく意識を育む。
---

重点取組分野	具体的取組
<b>生きてはたらく知</b> 担当 重点研究推進部会	①生活科・総合的な学習の時間を核として、主体的に深く学び続ける姿を目指し、全体計画及び、カリキュラムを元に学習活動を展開する。②探求課題を解決することを通して、主体的に地域・社会と関わろうとする児童を育てる。
<b>豊かな心</b> 担当 学習評価部会	①異学年交流「なかよしペア活動」を通して、思いやりや共感する心をもち、互いに支え合う態度を育てる。②音楽会を通して、豊かな感性や情操を養い、表現の喜びを味わいながら自己肯定感を高める。③人権週間では発達段階に応じた取組を行い、相手の立場や人権を尊重する大切さを理解し、実践への意欲をもたせる。
<b>健やかな体</b> 担当 健康安全部会	①体力向上1校1実践である短縄・長縄の年間計画を立て、児童が継続して練習に取り組むことができるようにする。②児童が望ましい生活習慣や進んで運動する習慣を身に付け、心身の健康を保持増進するため、食育の場や、学校保健委員会において家庭と連携する。
<b>児童指導</b> 担当 児童支援部会	①児童が安心してより良い生活を送れるように、生活目標や学校スタンダードを活用し、すべての教職員が同じ方向性で指導する。②居心地の良い学級集団づくりを基盤として、個の違いを認め合える雰囲気づくりや、個に応じた配慮をしていくインクルーシブな学級、学年、学校づくりを行う。
<b>地域連携</b> 担当 教務	①地域と共に歩む学校を目指し、PTAや地域の協力を得ながら、社会に開かれた教育課程の実施や安心安全な学校づくりを行う。②本校の教育活動を理解していただくために、共育の会(南山田親子懇話会、授業参観、学校説明会等)や、学校だより等で学校の取り組みを説明する。
<b>「学びの場」のつながり</b> 担当 学習評価部会	①小中一貫カリキュラムによる9年間を通じた資質・能力の育成を行うため、小中合同授業研究会を実施する。②6年生が中学校の授業を参観する機会を設定する。③幼保小連携の研修を行い、協同してスタートカリキュラムを行う。④1年生や5年生の児童が園の児童と一緒に活動できる学習活動の機会を設定する。
<b>特別支援教育</b> 担当 教務	①一人ひとりの、学習における困難さに応じた指導内容や指導方法の工夫を行う。また、本人・保護者との合意形成を図りながら行う合理的配慮を提供する。②個別支援学級と、一般学級の児童における、ねらいを明確にした交流及び共同学習を実施する。
<b>いじめへの対応</b> 担当 児童支援部会	①毎週金曜日に「学校いじめ防止対策委員会」を実施し、児童指導状況を全教職員が共有し、未然防止・早期対応に努める。②児童一人ひとりが気持ちよく居心地のよい学級、学年、学校をつくるため、YPAアセスメントと子ども面談を年2回実施する。
<b>人材育成・組織運営(働き方改革)</b> 担当 校長	①経験の浅い教職員が主体的に学び、支え合い、教育の専門性が向上を図る場としてメンターチーム(MY進し隊)を組織し、先輩教職員の助言、授業研究等を通して、共に学び、教育公務員としての資質能力及び学校組織力の向上を図る。②教職員の時間外勤務を是正するため、行事・会議の精選、事務機器の導入など職員室の生活環境を改善する。